



●この説明書は必ず取付けされる方にお渡しください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、重量が最大で40kgとなります。障子の外れ、倒れ等で思わぬけがをしたり、漏水の原因になるおそれがあります。下記事項をお守りください。
  - ・製品を運んだり取付ける場合、重量に見合った人数で行ってください。
  - ・開口部を付け枠等でふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
  - ・窓台は45×105mm以上、窓台下の間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
  - ・開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を正確に出して取付けてください。
- 障子が開き、指をはさまれるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・サッシを寝かした状態で、クレセントの開錠を絶対にしないでください。
  - ・枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。
  - ・外壁施工後、枠の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。

### ■取付け上のお願い

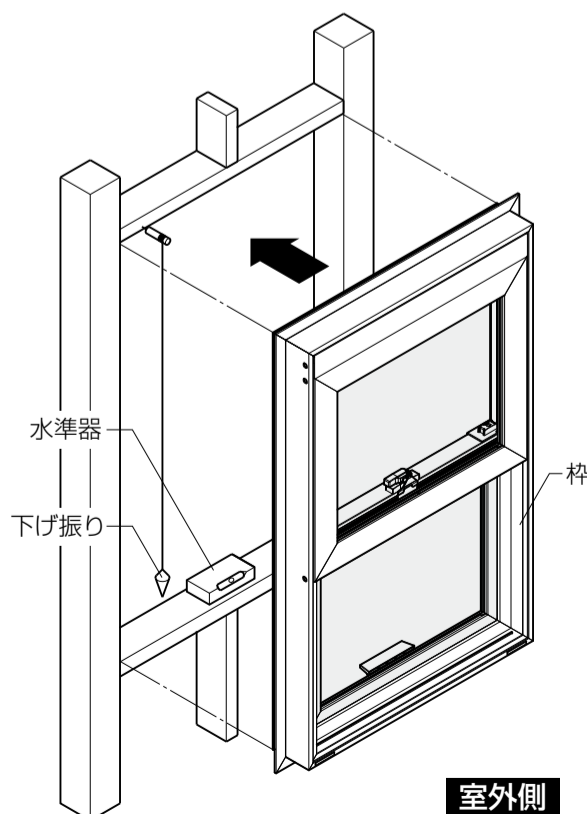
- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
  - 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
  - 障子の複層ガラスは、絶対に外さないでください。
  - 枠と障子は分離せず、一体のままで取付けてください。
  - シーリング材はシリコン系、変成シリコン系、ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- ※清掃が必要な場合は、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

### ■取付け順序



- 1 枠の仮止め
- 2 枠の調整と固定
- 3 ピボットの調整
- 4 バランサーの調整
- 5 上枠カバー材の取付け

### ■取付け詳細

- 1 枠の仮止め
  - 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

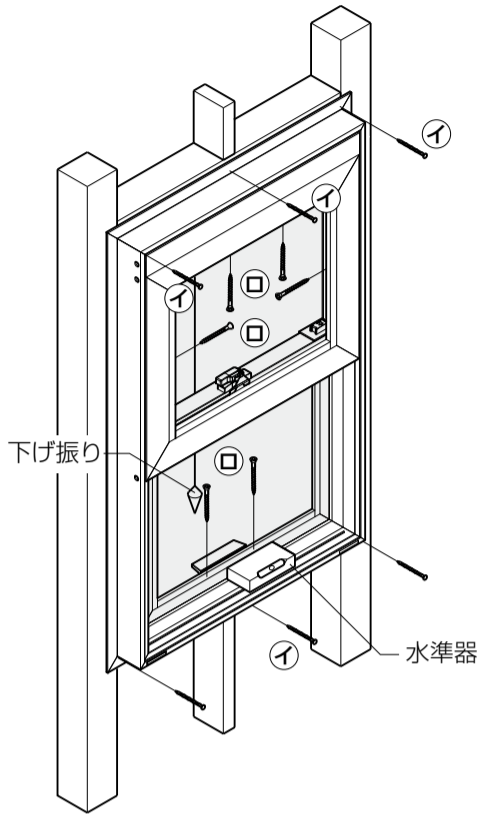


### ■ねじ一覧表

①	②
	
φ3×38スクルー釘	φ3.8×38皿木ねじ

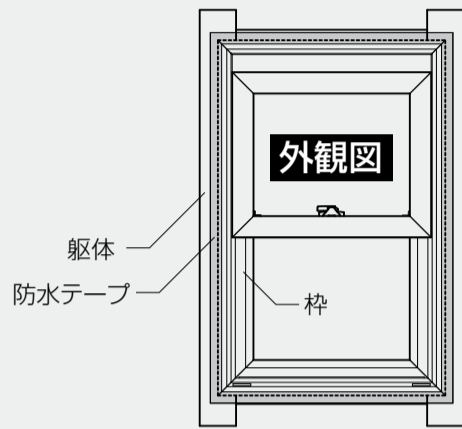
## 2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※ 固定後、必ずバランスの調整を行ってください。
- ※ 枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。開閉不良の原因になることがあります。



### ▲注意

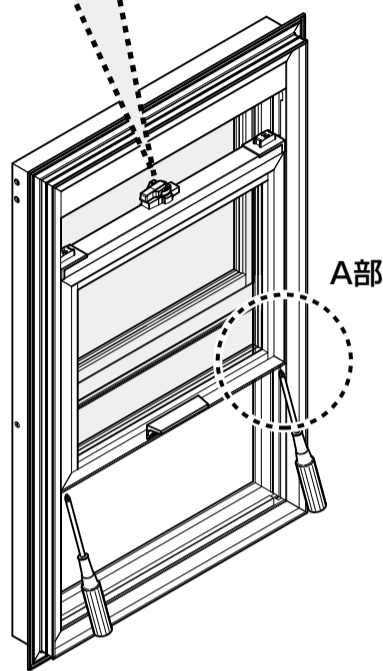
- 本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



## 3 ピボットの調整

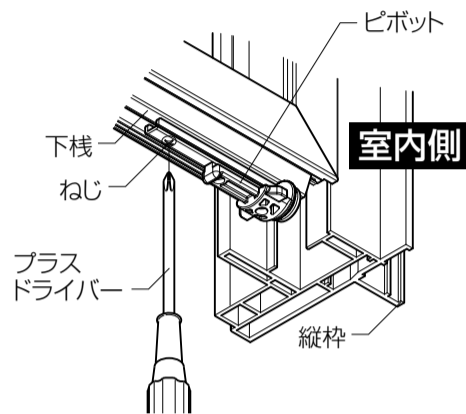
### ▲注意

- 枠固定時までクレセントをかけておいてください。



### ■A部詳細図

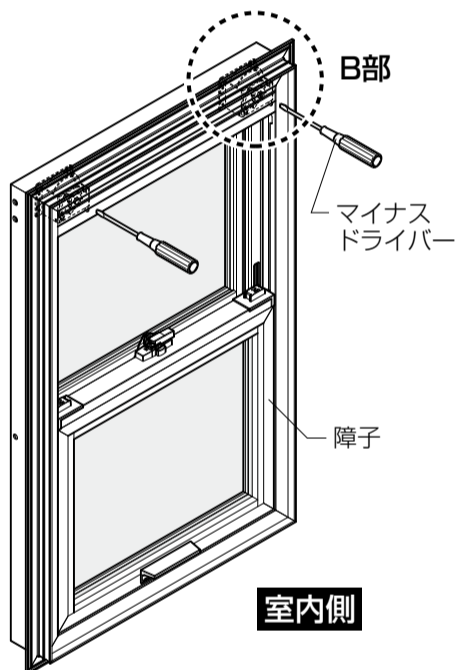
- ① ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
  - ② ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
  - ③ 左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※ まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。



## 4 バランサーの調整

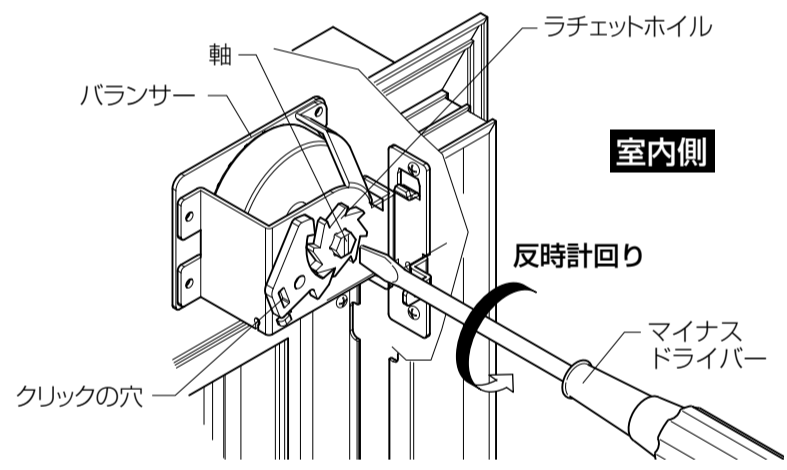
- ※ 枠固定後に障子の開閉を行い、上げと下げの力がほぼ同じでない場合は、バランスの調整を行ってください。

- ① 上枠カバー材取付けねじを外して、カバー材をたわませて外してください。
- ※ 外しづらい場合は、障子ストッパーを外してからカバー材を外してください。
- ② 障子を一番下に下げます。
- ③ 障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランスのラチェットホイールを回して調整します。
- ※ 左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



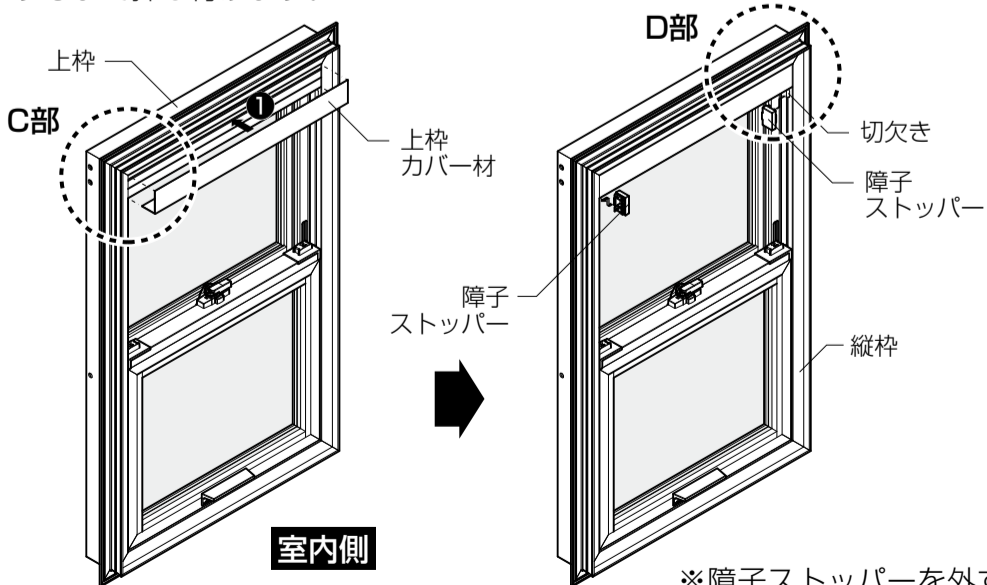
### ■B部詳細図

- ※ 図はR（内観右）を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※ L（内観左）は逆回転（時計回り）です。



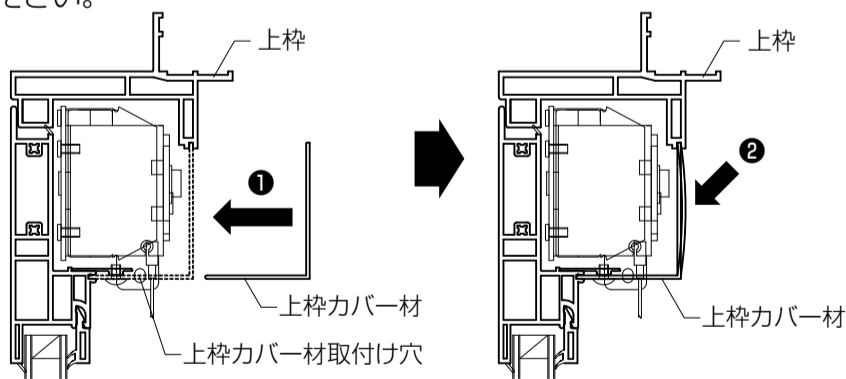
## 5 上枠カバー材の取付け

- ① 上枠カバー材の左右どちらかを上枠と外障子上棧の溝に押し当てます(1)。
  - ② 矢印部を押し、上枠カバー材をたわませながら、上枠と外障子の溝にはめ込みます。
  - ③ 上枠カバー材をねじ止めします。
  - ④ 障子ストッパーを外した場合は、障子ストッパーをはめ直してください。
- ※ 障子ストッパーは縦枠の切欠きに室内側よりひっかけ、「パチン」と音がするまで押し付けます。

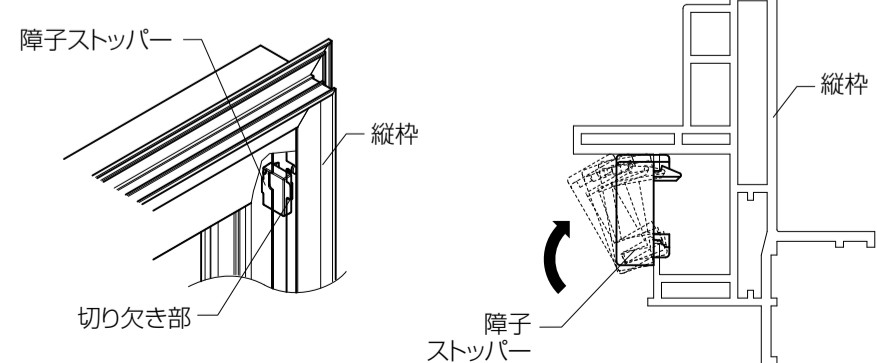


### ■C部詳細図

- ※ 上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材をたわませて外してください。



### ■D部詳細図



- ※ 障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆に室外側より回転させて外してください。